

小川政弘作 テーマ「迷い」② 「迷ったっていいじゃない」

- 由紀 新平君、今度の土曜、映画見に行かない？ 期末も終わったし。
- 新平 オッケー。今、何やってっかなあ。
- 由紀 ええと、(新聞の上映一覧を見る)スカラ座は「燃える秋」。いいわねえ、これ。ロケがとてもしゃれいだっていうし、眞野響子って好きだし。これにしましょう。
- 新平 おいおい、待ってくれよ。男と女は好みが違うんだから。どれどれ、お、「ピンクパンサー」最新版か。おもしれえんだよな、これが。それからと…。ん、「ダーティー・ファイター」クリント・イーストウッドか。これもスゲえんだよな。迷っちゃうよ。
- 由紀 また新平君の“迷い病”が始まったあ。早いとこ決めなさいよ。
- 新平 まだまだ。それから東劇では「グレート・スタントマン」、そいで、わっ、「ジョーズ2」。マイったなあ。こりゃ考えちゃうよ。
- 由紀 何言ってんのよ！ みんな洋画ばっかりじゃないの。それもなんだか知らないけど片仮名ばっかり。もう少し、こうロマンチックなのないの？
- 新平 そいじゃいっそ、日本映画にしようか、由紀ちゃんの好きな。あ、これこれ、決定版、「男はつらいよ」！
- 由紀 知らないわ。新平君、嫌い！
- ナレーション 新平君と由紀ちゃんは、高校2年のクラスメート。お互いに助け合ったりケンカしたりしながら、仲良くやっているのですが、この二人は性格がまるで反対なんです。由紀ちゃんは、物事を単純明快に割り切って考えるたちで、一度こうと決めたらどンドン実行しちゃうタイプ。それに対して新平君は、自分でもイヤになっちゃうほどの“迷い型”。あれこれ考え出したら、もうキリがありません。二人が逆だったらよかったんですけどね。映画の選択ぐらいならまだいいんですが、卒業後の進路の話などになると、こうはいきません。
- 新平 由紀ちゃん、おれ、ゆうべは考えちゃったよ。由紀ちゃんが、進学しないで就職するなんて言うもんだから。
- 由紀 ごめんなさいね。「一緒に大学へ行こう」と約束してたのに。でもね、大学行くだけが人生じゃないし、それに「大学、大学」って目の色変えてしゃにむに勉強しながら、いざ大学に入ったら、もうこれですべてが終わったみたいに、毎日デレデレ遊んで暮らしてる人たちいっぱい見てるでしょ。“こんなの、どっかおかしい。もっと人間らしい生き方があるんじゃないかな”ってずっと考えてたの。それでね、とにかく自分で精いっぱい働いて、その中で、好きな勉強やってみることにしたの。決めたら、なんかスッキリしたわ。
- 新平 いいなあ、由紀ちゃんは。そんな考え方ができるのも、その、“信仰の力”なのかい？
- 由紀 まあね。新平君はどうなの？
- 新平 うん。僕の打ちじゃ、「別にお前の好きなようにしろ」って言うんだけど、でもおやじももう年だからな。早く一人前に稼いで安心させてやりたいとも思うし、だけど先輩の行ってる大学で法律も学んでみたいし。長い目で見たらそのほうがいいと思うんだ。でも、由紀ちゃんの行ってることも確かにそうなんだよな。それやこれや考えたら、もう分かんなくなっちゃったよ。おれも、由紀ちゃんみたいにスパッと考えられたらなあ。どうしてこう迷うんだろ。
- 由紀 新平君。それは違うわ。確かに、いつもあなたとケンカするけど、心の中じゃ、“新平君の考

え方、いいな”って思ってるのよ。

新平 え？ だって、この間は“優柔不断だ”ってこっぴどくけなしたくせに。

由紀 ううん。決断力って、最後には必要だと思うけど、わたしなんか、いつも早とちりして失敗ばかりしてるわ。この間も、牧師先生と話してたら、わたしは単純すぎて、深みがないんですって。ショックう！ で、新平君のこと、話したの。

新平 え？ s、それでなんて言ってた？

由紀 そしたらね、“迷う“のは悪いことじゃないんだって。いろんな立場から考えられるから迷うんだって。

新平 ふーん。よし、おれ、今度教会に行ってみる！

<続>